

【D】 32. 運輸安全マネジメント

＜運輸安全マネジメント制度とは？＞

輸送の安全確保は運輸事業の根幹を成すもので、利用者である国民(荷主等)に信頼される輸送サービスの実現には必要不可欠です。「運輸安全マネジメント制度」とは、運輸事業者自らが経営トップから現場まで一丸となり安全管理体制を構築し、継続的に繰り返すことで「安全意識の浸透」と「安全風土の構築」を目指す取組です。

具体的には、

・PIAn(計画)

輸送の安全確保を図るための計画を作成する

・Do(実施)

作成した計画に基づいて安全対策を実施する

・CheCk(評価)

実施した結果、どんな効果があったか評価する

・ACt(改善)

改善点を整理しさらに計画を見直し実施する

を繰り返し輸送の安全の向上を図っているものです。



“従業員や荷主に対し「安全意識の浸透」と「安全風土の構築」をアピール“

1. 運輸安全マネジメントの実施の徹底と安全に関する情報の公表・義務

全事業者は、輸送の安全が最も重要であることを自覚し、運輸安全マネジメントの実施により絶えず輸送の安全性の向上に努めなければなりません。その上で、安全規則に基づき輸送の安全にかかわる情報を、毎事業年度の経過後100日以内に外部に対して公表しなければなりません。

2. 事業者が公表する内容

- ① 輸送の安全に関する基本的な方針
- ② 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況
- ③ 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計
(総件数及び類型別の事故件数)
- ④ 安全管理規程(※安全管理規程義務付け事業者のみ)
- ⑤ 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置
- ⑥ 輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制
- ⑦ 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況
- ⑧ 輸送の安全に係る内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置
- ⑨ 安全統括管理者に係る情報
(※安全管理規程義務付け事業者のみ)
- ⑩ 安全規則に基づく行政処分を受けた時は、その「処分内容」及び「改善報告書」

※安全管理規程義務付け事業者

→事業用自動車200両以上保有する事業者(H30.4より)

＜公表の様式例＞

運輸安全マネジメント 情報公開用ボード 会社名

輸送の安全に関する基本方針(平成 年 月～平成 年 月)

輸送の安全に関する目標

目標達成のための計画・取り組み

今日の事故防止 一日実践項目

月 無事故祈願 安全絵十字

連続無事故目標日数	1 2	連続無災害目標日数
日	3 4	日
	5 6	
7 8 9 10 11 12		
13 14 15 16 17 18		
19 20 21 22 23 24		
25 26		
27 28		
29 30 31		
連続無事故日数		連続無災害日数
日		日

前事業年度(平成 年 月～平成 年 月)における

○ 安全に関する目標達成状況

○ 事故に関する統計

社団法人 岐阜県トラック協会
(運輸事業振興助成交付金金計)

【チェックポイント】

・上記「2. 事業者が公表する内容」を定め公表されてますか？ ☐

(公表手段: 自社HP・広報誌、報道機関へのプレス発表、営業所等自社施設への掲示)

項目判定

☐ 適 ☐ 否